



成人おめでとう

五十六人がおとなの仲間入り

今年も五十六人の新成人が誕生しました。成人式は一月十五日、基幹集落センターで行われましたが、女性のはなやかな振り袖姿だけはいつも変わぬ風景でした。

それでも白川村長から「権利と義務を持つ社会人として責任ある行動を」とはげまされ、さすがに感激をかくしきれない表情でした。

昭和53年 2月号

みんなの広場

みんなが一つの輪に

十三 秋月 忠孝
(漁業・37歳)



昨年は、200海里専管水域問題に始まり、日ソ漁業問題、円高、そして、水田利用再編対策に伴う転作目標の配分と、まさに激動の1年でした。

しかし、こうしたきびしい試練のなかで私達はそれぞれの問題に対処し、少しでも生活に明るさをとりもどさなければなりません。

ただひとつ、真実に向っていえることは、これから生き長らえて行くためには、どんな小さなことでも、ないがしろにすることなく、変動期を歩むとも、汗を惜しまず働く人も、政治を行う人も、ひとつの輪をつくりあげ、村の発展のために努力することだと思います。

その問題によっては、ゼロの地点から出発をも否定しない素直な気持ちもたいせつだと思うが……。

地域に即した営農を

相内 佐藤 二郎
(農業・29歳)



170万ヘクタールもの米の生産調整、農産物の輸入自由化、価格の低迷……。本村においても相変らずの出かせぎ、農機具の過剰投資、後継者の

不足等、ことはもつともきびしい年になりそうです。しかし、悲観ばかりしては農業に明日はないと思うのです。

基盤整備ゼロの本村には生産調整はチャンスです。また、肉牛についても名声が高まりつつあり、頭数も急激に増える傾向にあります。一方、畑作は400ヘクタールにおよぶ遊休地を活用し地域自給体制を確立すべきです。

米、牛、蔬菜を有機的に分類し、各農家は地域に即応した営農形態をつくりあげることが提案します。農業なくして明日の市浦はないと思うから……。

□連合婦人会

新役員が決まりました

連合婦人会の設立総会は1月22日、基幹集落センターで開かれ、役員を次のとおり決めました。

- 会長 吉田サダ (相内)
- 副会長 安田キサ (十三) 竹谷みち (協元) 奈良しづ江 (太田)
- 理事 佐藤あ系 (相内) 白川君江 (相内) 小山あぐり (十三) 相川きみえ (十三) 成田つる (協元) 柳引光子 (協元) 下沢はつよ (太田) 奈良せつ (太田) 藤田イツ (磯松) 村元せつ (磯松)
- 監事 鳴鳴キリ (磯松)
- 会計 白川文栄 (相内)
- 書記 白川政子 (相内)

□十三漁業協同組合

職員を募集中です

- 募集人員 1名
- 資格 高校卒業または同程度の学力を有し、主事職として業務に耐え得る方。
- 給与 初任給 65,000円
- 応募方法 自筆履歴書を添えて3月10日までに十三漁協に申込むこと。
- 面接試験 3月15日午後1時組合会議室で行います。

□測量士国家試験

5月21日青森市で実施

昭和53年測量士と測量士補の国家試験は次の日程で行われます。

- とき 昭和53年5月21日午前10時～午後4時
- ところ 青森市 (未定)
- 願書受付期間 昭和53年2月1日～3月22日
- 願書用紙交付先 国土地理院 東北地方測量部 (仙台市本町3の3の1 仙台合同庁舎)
- 郵送希望者は、所定の切手を貼付したうえで先明記の返信用封筒を同封のこと。
- 願書送付先 建設省・国土地理院 (東京都目黒区東山3丁目24番13号 郵便番号153)

人を笑わせる人が好き

相内 小笠原 俊治
(公務員・39歳)



人はそれぞれ異った性格を持っています。無口で暗い感じの人、明るく快活な人、そして、機嫌じょうごな人等、千差万別です。

しかし、私は人をよく笑わせる人が好きです。人を笑わせる人は心が明るく、他人にもよく好かれ、愛されます。また、こんな人は明るく楽しい毎日を送れる人だと思っています。

「あの人は人を笑わせるのが好きな人」と、みんなにいわれている人には、総じて悪人はいませんし、なんのつたくもなく語る人であり、反面、情ぶかいたわりの心を持ち合せています。

「笑う門には福が来る」という、ことわざがあります。職場でのひととき、パツと起る笑いが、どれほど心なごませることか。

私の保育雑感

十三 長利 友子
(保母・28歳)



霧水や樹氷は眺めるだけで、限りなく未来が反映できるのに、それが大口を開けたように吹き荒れると、なにもかもが時間だけカラ回りして

いる感じがなくてもありません。昨年、始めて子ども達の絵を全国児童生徒作品コンクールに出品してみました。そしたら1人だけ幼児の部票内入選10人の1人に選ばれました。保母としての作業は書かれた絵を発送したにすぎないのですが、その子どもが賞品と賞状を手にした時の笑顔が、なにが得たいものようであり、そして、心温まる感でいっぱいでした。

これからも、保育カリキュラムが既定の年間行事消化のみに終ることのないよう、真剣に取組みたいと思っています。

税のしおり

貯蓄と税金

わたくしたちは、住宅の購入資金や病気などによる不測の出費、また、老後の安定に備えて預金をしたり公社債を買ったりして貯蓄をします。預金や公社債の利子は利子所得として所得税がかかりますが、一定の手続きをとることによって非課税の扱いを受けることができます。

一般にマル優といわれているので、預貯金や貸付信託、更に、この二つの制度とは

公社債投資信託などの利子や収益の分配金には、一人一元金三〇〇万円までを限度として税金がかからない「少額貯蓄の利子所得の非課税」制度があります。これは別々に国債や公募地方債の額面三〇〇万円までの利子は税金がかからない制度があり、これは一般に特別マル優といわれています。

別わくで、サラリーマンの財産形成を目的として設けられている勤労者財産形成貯蓄については、元本五〇〇万円までの利子は税金がかかりません。また、住宅を取得する目的で一定の要件にあってはまる貯蓄をしたときは「住宅貯蓄控除」が受けられます。

(五所川原税務署)

犬はつないで飼いましょう



相内地区の上野伊仁治さんはこのほど、恵まれない人達のために役立ててくださいと、二万円を村に寄託しました。

上野さんは昨年十一月、民生委員を退任しましたが、そのとき支給を受けた報酬の一部を寄託したものです。

善業ありがとうございます

お知らせ

□移動交通事故相談

毎週2回五所川原公民館で

県交通事故相談所では、毎月2回巡回移動相談所を設け、交通事故にともなう損害賠償問題や更生問題について無料で相談に応じております。予備知識などわからないために苦しみ、泣き寝入りしないよう、示談の前に気軽に相談所の利用をおすすめします。

□相談担当者 交通事故相談員4名のほか顧問弁護士1名。

□相談方法 面接相談(本所では文書や電話による相談にも応じます)

□相談日・時間 毎週第2・第4水曜日、午前10時から午後3時まで。

□相談場所 五所川原市中央公民館。

□相談に必要なことがら

- ①事故の年月日、場所、状態。
- ②当事者の住所、氏名、年令、月収または年収。
- ③自動車の持主、保険会社名、関係書類。

なお、本所(県庁)では休日を含め毎日午前9時から午後4時まで相談に応じています。

□住民税の申告は

2月16日から3月1日まで

昭和53年度の住民税(村民税)の申告の受け付けを次の日程で行います。

□申告に必要なもの

- ①印鑑 ②医療費の支払明細書 ③社会保険支払明細書 ④生命保険掛金領収書 ⑤その他必要と思われる明細書または領収書
- 申告受付日程

日	時	地 区	場 所
2月16-17日		太田地区	太田生活改善センター
2月20日-21日		十三地区	十三出張所
2月22日-24日		脇元・巖松地区	脇元出張所
2月27日-3月1日		相内・桂川地区	葛野集落センター

(いずれも午前9時から午後3時まで)

□五所川原税理士会

3月8日から納税相談

東北税理士会五所川原部会では、所得税の確定申告期にあたって、小規模業者のために次のとおり無料で納税相談(申告指導をふくむ)に応じます。

□とき 3月8日から10日まで3日間、毎日午前9時30分から午後4時まで。

□ところ みちのく銀行五所川原支店会議室
□その他 帳簿、書類、記録等を持参ください。

□村内バドミントン大会 26日中学校体育館で

体育協会では、次の要領によりバドミントン大会を開きます。多数参加してください。

□とき 2月26日午前9時から
□ところ 市浦中体育館(種目)

□団体戦 5人1組とし、すべてシングルス。

ただし、5人のうち1人以上はかならず女子が30歳以上の男子を含むこと。

□個人戦(シングルス)

- 30歳未満男子の部
- 30歳以上男子の部
- 女子の部(年令制限なし)

□申込み 体育協会事務局あて(役場内)

□締切日 2月25日

□2歳児検診

23日相内児童館で

2歳児の検診を次のとおり行います。赤ちゃんの健康を知るためにも、ぜひ検診を受けましょう。

□とき 2月23日午後1時から3時30分まで。

□ところ 相内児童館(自動車運行時刻)

□桂川(秋久宅前)午後1時(ジープ)

□太田小前 午後1時30分
□その他の地区は患者輸送車をご利用ください。

環境美化作文コンクール入選作品 ■ 3 ■



人間にとって自然とは

市浦中三年 高松康平

「地球は青かった」
この有名な言葉を残したの
は、世界で最初の宇宙飛行
士だった、ソ連のガガーリ
ンであることは、いうまで
もない。

しかし、その美しいはず
の「地球」がどうだろう。
僕達のまわりを見渡すと、
大気も海も川も緑までもが
随分汚れている。つまり
「公害」だらけになってい
るのだ。
いったん汚れたものを、
もとどおりの美しいものに
戻すには、汚した年数の
何倍、何十倍、いや何百倍
もの年数と莫大な費用、そ

して人間の努力を要するだ
らう。

「公害」は一九七〇年代
で、人類が取り組まなけれ
ばならない重要な課題であ
るといわれている。

私たちが住んでいる日本
は三十七万平方キロメート
ルの狭い島国だ。この狭い
ところに一億の人間が住み
アメリカ、ソ連につぐ世界
第三位の巨大な生産を行な
っているのだ。このため排
出される煤煙、腐水、廃棄
物などは、ぼう大な量に達
している。

ところで公害現象は、大
きく分けて、大気汚染、水
質汚濁、振動、騒音、土壌
汚染、地盤沈下、及び悪臭
の七つに分けて考えられて
いる。このほかにも、食
品公害、薬品公害、交通公
害、電波障害、日照権問題

など社会が複雑になるに伴
って発生するいろいろな困
つて現象も公害と呼ばれる
ことが多くなってきている。

さて、これらの「公害現
象」のうち「大気汚染」に
ついて述べたいと思う。

「大気汚染」といえば、
四日市ぜんそくという言葉
が頭に浮かんでくるが、四
日市以外にも川崎市、大阪
市西淀川区、尼崎市など多
くの都市が大気汚染にまま
われた。

大気汚染のひどい状況はス
モッグともいわれるが、よ
く冬などの逆転現象という
特殊な気象条件のもとで発
生する場合が多い。

スモッグの原因は煤煙で
亜硫酸ガスに代表されるイ
オウ酸化物などの有害物質
が含まれている。

さて、我が市浦村につい
ての環境美化と公害につい
ていろいろ考えたと思う。
ここ数年にわたり十三湖
はまるで終着駅かのように
ゴミでにぎわっていき、
手のつけられぬほどの多量
のゴミが山ほど積もってい

るのを見せたいくらいにだ。
それが、部落の人々の良
心により荒涼を閉鎖したか
のように、きれいになされて
いる。

十三の部落内には、「街
をきれいに」と緑色で書か
れたゴミ入れがいくつか設
置されている。また、「
子供会」の名を入れた白い
フラワーボックスも通り過
ぎようとする人々の目を楽
しませてくれる。

学校では、どのようにし
ているのか。
そこで市浦中学校を例にあ
げてみたいと思う。
春から秋にかけては、玄
關の前の階段のフラワーボ
ックスに虹のような鮮やか
な花がうかがわれて、その
で訪れる人への感じとして
はとてもよいと思う。

校内にこらも今年から少
し工夫をこらしたフラワー
ボックスの花はともしても観
しみやすいような気がする。
また、学級にもわきわき
家から花を持ってきてくれ
るような人も少なくなはい。
さらに身のまわりの小

な紙くずなどでも捨つたり
してくれる細心で、しかも
感心な人もなかにはいるの
だ。

現在、我が国では公害対
策の一環として、昭和四十
二年に「公害基本法」が制
定された。その中で「環境
基準」が設けられている。
これは僕達の環境がどの程
度きれいで、どの程度静か
であるのが望ましいかとい
う基準のことだ。

この基準を維持するため
に、行政では工場の煤煙や
腐水を規制したり、下水道
を整備したり、イオウ分の
低い重油を確保したなどの
対策が進められているわけ
だ。

こういった行政上の公害
対策は、まだまだ十分とはい
えない。だからこそ人間
が「公害反対」の声を上げ
なくてはならない。
人間の「つ」の物ごとに対
する思いやりと呼びこそが
美しい、住みよい環境を取
り戻す「導火線」になるの
だから。



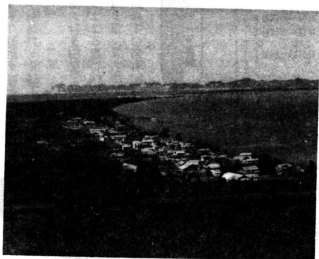
▶ 3 ◀

屏風山地帯の出現

豊島勝蔵

十三部落は洪積世に

洪積世の時代も何十万年も続きますけれど、この時代にもやはり火山がさかんに活動しています。ホラ、十三湖にあたたく、あざやかな姿映じている、この岩木の秀麗も、それがつけたか大昔は阿曾部が森



屏風山地帯は洪積世時代から沖積世にかけて造成された。(車力村・呑龍岳から)

といわれ、点々と起伏していた丘でありました。この阿曾部が森も大地鳴動、真赤な火柱を高くたかくお立て、火の雨を降らせ、大空をこがし前代の土地を何十回となくおおい、また真紅の泥流の手となって、ぐんぐん古代津軽湾(十三湖)の海辺を埋めました。これが洪積といわれてい

る地相なんです。現佐の十三部落もこの時代に、点々とした島のような形で姿をあらわしてくるんです。約二十万年前のことです。

水河時代の氣候

この世で、もう一つの現象があらわれます。いわゆる水河時代といわれる気候的な現象です。第一水期のピーク(もっとも寒冷の時代をいいます)は約七十万年前、第二約三十万年前、第三約十萬年前、第四約二

万五千年前です。また、各水期の間に温暖な時代がやってくる。第一期水期のピーク(もっともあたたかい時代をいいます)は約五

十萬年前、第二約二十萬年前、第三約八萬年前、第四約五十年前で、現在は第五水期に向かって進んで約一

万五千年後になると、もっとも寒冷な時代になるわけ

です。でも心配することはありません。それは、私もあなたたちもこの世にはい

ないからです。それと、第一水期と第五水期とは寒さ

の程度がちがって、だんだんあたたかになってい

きます。このように、厳寒骨をもつんぞうな寒さの水期と、人間が活動にもつ

とも適した温暖の水期とも、かわるがわるやってくる。また、水期には海水が海地や高山に氷となるの

で、海水面は約百メートル(これを海退といいます)逆

して、マンモス、洞熊、野牛、鹿、狐、兎などの動物を追って生活していました。猿とか、原人とか、旧人とかいわれて人間のかごうをしていたんです。そして、七万年前(十萬年前ともいわれています)には、私たちの祖先だといわれる新人(ホモ・サピエンス)に進んできます。旧石器時代人です。

屏風山は八千年前に

とにかく、洪積世の時代に屏風山の基底が点々と島のように造成され、日本海の荒波に洗われるようになりました。そして、その基底を中心にして、次の現世代第四紀(沖積世の初め頃)にかけて、日本海の風浪、もう一つの行来川(岩木川)の運ぶ土砂の埋立てる事によって、屏風山地帯の土地造成が急速に進んでいきます。約八千年前頃のことです。現在の亀ヶ丘とか十三方面にも人類が住める状態になったわけです。まさに父なる山、母なる川のおかげです。

東日流弁^{つがるべん} ③

(寛政年間 一七八九—一八〇二)

□物類言及び通弁

- デワ(近山) タメセキ
- (澤) ケバル(がんばる)
- シチコ(泉) ネマル(座)
- オトガ(あ)
- カナツボ(眼) カネコロ
- モ(蟹) サビトリ(馬使い)
- テツペイ(多い) カダク
- ラ(無理) ハキダメ(ごみ溜め) アオキ(山菜)
- ベコ(おす牛) シヤラ
- (老木) ガバ(リ(闊所))
- ミツギ(物見台) ジシコ
- (通路) ミカゲ(水口)
- ゴンケツ(拳) ツコ(乳)
- クチャベ(早苗葉) イノ
- チダツ(刀剣) マギリ(小刀) ハネガス(矢) コダ
- (急す) ガガリ(細い)
- チヨウホウ(大事な物)
- ベベコ(くし) カチヨ
- (冬越) アカダ(沢田)
- カダフタ(片方) クソマ
- ダレ(馬鹿者) ハナキギ
- (目明し) ツラツギ(顔色)
- ドサ(同処へ) トロジ
- (土間通り)

村史資料編上巻より



商工会珠算検定合格者

おみごと 福井君一級合格



第四十八回商工会珠算検定試験は二月十一日、十三小学校で行われましたが、十三小学校六年の福井慶太君がみごと一級に合格しました。
福井君の一級合格は、前回合格の小倉さん(十三小)に次いで二人目です。

- ▽一級 福井慶太(十三小)
▽二級 若山由香利、松江希子(十三小) 奈良一仁(太田小)
▽三級 成田祐子、山崎悦子(相内小) 梶浦千可子、高橋ゆかり(十三小) 奈良貞則子(太田小)
▽四級 吉田明子、佐藤八重子(相内小) 浜田直美(十三小) 土岐美智子(太田小)
高田泰巧子(辻分珠算塾)
▽五級 吉田恵、渡辺英樹(相内小) 有馬春樹、小倉正三、相坂孝弘、相坂泰弘、佐藤勝幸、亀田友治(十三小)
- 石岡一行(脇元小) 木村昭彦
▽六級 加納隆、花島淳、中井秀行、湯淺隆二、相川高樹、相川草子、渋谷隆一(十三小) 山田伸悦、三上京美、竹谷えみ、俵谷有知子(脇元小) 萬谷美由起(辻分珠算塾)
▽七級 秋田谷和子、三和聡、渋谷里架子(相内小) 若山玲子、八木沢淳(十三小) 三和直利(辻分珠算塾)
▽八級 三和宏子、伊東和仁(相内小) 小山内仁(十三小)

国民年金の保険料が 4月から2,730円に 引きあげられます

国民年金の保険料が、四月から月二千七百三十円に引き上げられます。国民年金制度は、年をとったり障害者になったときなどに、年金によつて所得を保障しようという制度で、年金額の水準や加入

者の状態などから保険料の額が決められるのが本来の姿です。しかし、四月から月二千七百三十円に引き上げられても、決してバランスのとれた姿ではありません。計算によりますと、現在の年金額の水準を保つていくために必要な保険料は、月五千円以上となっておりますが、皆さんの負担が急に増えることをさける意味から、必要な保険料よりも低額に抑えられているものです。

このため、保険料は今後も段階的に引き上げていくことになっていきます。国民年金制度を、より一層充実発展させるため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

戸籍の窓



お誕生

- 脇西 勇輝 (貞樹) 脇元
外崎 久美子 (繁美) 脇元
佐藤 敬道 (孝治) 相内
濱田 美和子 (昭義) 十三
工藤 雄一 (千秋) 十三
岡本 藤雄 (市雄) 相内
桑野 奈緒子 (邦夫) 脇元



ご結婚

- 柏崎 耀昭 (小磯) 治
佐藤 れい子 (磯松) 松
後藤 廣 (北海道) 森
内山 和音 (青森) 内
越田 友勝 (三) 内
渋谷 柳子 (相木) 木
三上 久子 (美) 小
長山 久子 (小治) 治
長谷川 惠美子 (五所) 原
山田 昭 (脇元) 元
太田 昭 (脇元) 元
佐藤 喜代子 (西目) 屋
石岡 明雄 (脇元) 前
中村 洋子 (脇元) 前
山田 義則 (脇元) 前
成田 みつ子 (脇元) 前

おくやみ

- 石森 きみ (相内) 60歳
釜釜 榮吉 (十三) 66歳
山本 ナホ (太田) 84歳
川元 コヒ (十三) 79歳
成田 定雄 (脇元) 71歳

三和仁市郎氏(前村議)死去



かねてから入院加療中でしが、一月二十九日午後六時五十分、肺ガンのため弘前大学医学部付属病院で死去しました。七十九歳。

三和さんは、大正十年十一月旧相内村書記をかりだしに、昭和四年七月から二十二年三月まで収入役を務めたあと、推されて村長一期を歴任。また、合併後の昭和三十一年から連続五期村議会議員を務め、四十四年十一月、長い間の自治功労が認められ、勲六等単光旭日章を受章しました。

福祉年金の 支払いは四月です

福祉年金の支払いは、お盆や暮れに間をあわせてほしいという要望に応えて、昨年の法律改正で一月ずつ繰り上げ

ば、四月、八月、十二月(希望するときは十一月)に支払うことになりました。したがって、本年最初の支払いは四月です。お間違いないようお願いいたします。